

Press Release

For immediate release – 2021年3月5日

世界最大級の消灯アクション「EARTH HOUR 2021」 EARTH HOUR2021 サポーターズ就任決定

～写真家の岩合光昭さんや、ジャイアントパンダのシャンシャンらが就任～

★「EARTH HOUR（アースアワー）」は、世界中の人びとが同じ日・同じ時刻に電気を消し、地球温暖化防止と環境保全の意志を示す、世界190の国と地域が参加する世界最大級の消灯アクション

★「EARTH HOUR2021サポーターズ（親善大使）」に、写真家の岩合光昭さんや「千葉ジェッツふなばし」ら就任

★3月1日(月)から「EARTH HOUR Weeks」と称し、土曜日以外連日ラジオを放送、SNS・プレゼント企画も実施

公益財団法人世界自然保護基金ジャパン（東京都港区 会長：末吉竹二郎、以下WWFジャパン）は、**2021年3月27日（土）20：30～21：30**に開催する世界最大級の消灯アクション「EARTH HOUR（アースアワー）」における「EARTH HOUR2021サポーターズ（親善大使）」を決定いたしました。

3月1日(月)から、「EARTH HOUR」のカウントダウン企画として、「EARTH HOUR Weeks」と称し、土曜日以外の連日ラジオ放送やSNS企画「#旅する60パンダ」、プレゼント企画も実施し、日本各地での消灯を促します。その呼びかけを行ってくださるのが、「EARTH HOUR2021サポーターズ（親善大使）」です。今年も、東京都恩賜上野動物園のジャイアントパンダのシャンシャンたちや写真家の岩合光昭さん、気象予報士・キャスターの井田寛子さん、スポーツチームからは横浜F・マリノス、千葉ジェッツふなばしらの皆様に就任いただき、環境保全のメッセージを訴求していきます。「EARTH HOUR Weeks」や3月27日(土)に開催するメインオンラインイベント、消灯参加施設の詳細な情報等は、以下特設ページにて随時発表してまいります。



「EARTH HOUR2021」特設サイト

<https://www.wwf.or.jp/campaign/earthhour-info/2021/>

■「EARTH HOUR 2021」実施概要（2021年3月5日現在）

主催：公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン（WWFジャパン）

共催：EARTH HOUR 2021 in YOKOHAMA実行委員会（横浜開催のみ）、横浜市（横浜開催のみ）、
NPO法人 Heart of Peace ひろしま

後援：環境省、消費者庁、渋谷区、墨田区、広島市、広島県（広島開催のみ）

特別協賛：ソニー株式会社、日産自動車株式会社、パナソニック株式会社



協賛：キリンホールディングス株式会社、西武造園株式会社

協力：マツダ株式会社 ほか

メディアパートナー：ELEMINEST（エレミニスト）、J-WAVE（81.3FM）、渋谷のラジオ

■「EARTH HOUR2021 サポーターズ」

EARTH HOUR 2021サポーターズのみなさんから、今回の就任にあたりメッセージをいただき、以下にご紹介いたします。

伊賀市観光大使 いが☆グリオくん

伊賀流忍者のふるさと伊賀上野で生まれたグリオは自然豊かなこのまちが大好き。

みんなの心にある大好きなふるさとの風景を未来につなぐため、自分たちに出来ることを「今」はじめなくっちゃ！まずは電気をポチッと消してそれぞれの地域から青い地球の未来を想像しよう。

みんなの思いと行動が明るい未来をつくるぐりよ♪

レッツ！ニンニン！レッツ！アクション！

（写真クレジット：©いが☆グリオ実行委員会）



気象予報士・キャスター 井田寛子さん

本当に大切なものは何なのか？

当たり前って何なのか？

各々が考えた1年でした。

気づいたときにはもう何も手段がない、とならないように。

残された時間は10年を切りました。でも、今なら間に合うはず。

好きなこと、身近なことから一緒に行動しましょう！

あなたの力が、今こそ必要なのです！



写真家 岩合光昭さん

自然の音を聞くことが、撮影を成功へと導くのです。

海、森、平原、砂漠、サバンナ…… それぞれ自然の音を持っています。

自然の音は自然そのものが整っていないと聞こえてきません。

昨今、自然の音は、自然の悲鳴に変わりつつあります。

自然とは調和。

WWFを応援することは自然の音を守ることだと思っています。

人と自然を繋げるWWFをこれからも応援します。

（写真クレジット：©Iwago Photographic Office）





エシカルファッションプランナー／一般社団法人unisteps共同代表 鎌田安里紗さん

着るもの、食べるもの、日々の暮らしのなかで使うもの。量産品でも手作りでもその全てが、地球上の何かしらの資源が形を変えて自分のところにやってきたもの。何を着て、何を食べて、どんな物を持つか、暮らし方を選ぶことは自分のあり方を選ぶこと。ありたい自分であり続けられるように、できることから、納得できる選択を。



ジャイアントパンダ シャンシャン&シンシン&リーリー

コロナ禍から立ち直る方針として、「グリーン・リカバリー」とよばれる持続可能な社会機能の構築が始まっています。

上野動物園をはじめ、都立動物園・水族園では、目指す姿とその実現のための方向性を示す「第2次都立動物園マスタープラン」にて、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に寄与することを掲げています。

人間や動物をはじめ、地球にやさしい暮らし方や行動を心がけてみませんか。

（写真クレジット：©（公財）東京動物園協会）



千葉ジェッツふなばし

プロスポーツチームの役割はスポーツで元気を与えるだけではないと私たちは考えております。千葉にも美しい自然や魅力的な環境資源が沢山ある事からファンや地域の方々と共に普段から地球環境の課題解決に取り組み、子供たちへ素晴らしい未来を残していけるよう積極的に活動してまいります。小さな事から一緒にやっていきましょう。



WWFジャパン顧問/ラジオDJ・モデル 前田智子さん

人類共通の困難の中、私たちは、一人一人の協力が不可欠なこと、離れていても繋がっているのだということに気付いたはずです。

ビルに切り取られた青い空は、渡り鳥が羽ばたく南国の広い空や、白熊が見上げる北極の空にも繋がっている。

深呼吸するその空気は、長い時間を経て地球を巡り循環している。

今だからこそ、私たちも、消灯リレーを地球一周させて、心をひとつに繋げませんか。

（写真クレジット：©CHRIS PEPPLER'S OFFICE）





横浜 F・マリノス

横浜F・マリノスは横浜市が進める「ヨコハマ3R夢」の広報大使をしています。ゴミのReduce（削減）Reuse（リユース）Recycle（リサイクル）といった環境を考えた取り組みに大いに賛同しています。今後もスポーツのチカラを活用しサステナブルな地域社会の実現への取り組みを加速させ、SDGs達成にもこれまで以上に深くコミット・貢献していきます。



©1992 Y.MARINOS

（写真クレジット：©1992 Y.MARINOS）

■「EARTH HOUR 2021 in YOKOHAMA」実施概要（2021年3月5日現在）

横浜市の脱炭素社会の目標「Zero Carbon Yokohama」実現をめざすとともに、地元大学生やNGOなどと連携し、設立した実行委員会を中心に企画運営をおこない、持続可能な街づくりを考えます。また横浜みなとみらい21地区など市内約100の企業・団体が施設の消灯参加予定です。（無観客イベント）

主催：公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン（WWFジャパン）

共催：EARTH HOUR 2021 in YOKOHAMA実行委員会、横浜市

日時：3月27日(土) 11：00～20：35 @横浜市役所1階アトリウムよりオンライン配信

連動企画：事前セミナーの開催（3月中に複数回開催予定）

URL：<http://yokohama.localgood.jp/earthhour2021/>

■EARTH HOUR（アースアワー）とは：世界中のんびとが同じ日・同じ時刻に消灯することで、地球温暖化防止と環境保全の意志を示す、世界最大級の消灯アクションです。2007年にWWFオーストラリアで始まり、日本では、2010年からWWFジャパンが主体となり開催しています。2020年には過去最多となる全世界で190の国と地域が参加しました。毎年3月の最終土曜日の現地時間20：30を迎えた地域から順次消灯を行い、日付変更線に近い南太平洋諸国から地球を1周する消灯リレーを行います。

■WWF（World Wide Fund for Nature）とは：1961年にスイスで設立された地球環境保全団体です。人と自然が調和して生きられる未来を築くため、現在100カ国以上で、希少な野生生物の保護や、森や海などの自然環境の保全、自然資源の持続可能な利用、地球温暖化の防止などを目指したプロジェクトを展開しています。

【WWFジャパンウェブサイト】 <https://www.wwf.or.jp/>

WWFジャパン プレスリリース一覧 <https://www.wwf.or.jp/press/>